



第255号

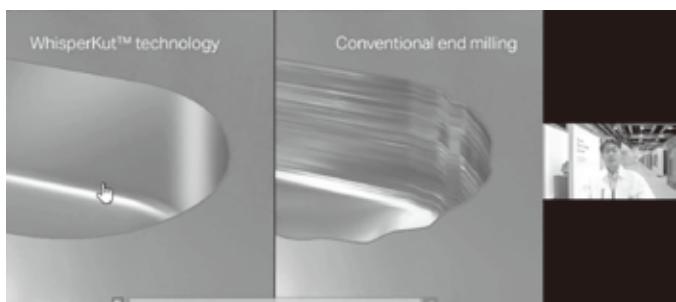
ト（本社＝名古屋市西区、山本雅広社長）では、毎年春と秋に様々な新製品やソリューションを導入しており、5月16日には午前・午後の2回にわたり「2023年春 新製品発表会を」オンラインで開催した。

今回のウェビナーでは、超静音エンドミル「Coromill® Dura」■

先端工具の加工事例などを含め、技術／製品開発部の川向利和氏はじめ4名が紹介、解説にあ

# サンドビック ウェビナー 「2023年春 新製品発表会」

早くもアルミ専用追加発売の『CoroMill® Dura』など5製品中心に紹介



## ▲WhisperKut™テクノロジー解説のワンシーン（PC 画面のスクリーンショット）

# Space BD「スペー スデリバリーPJ」 第二弾打上げも完了

▲打上げ前(左)と打上げ後(右)のアマビエ像

旅間利天開総奉告祭を、神奈川県市の江島神社にて行つた。

第一弾対象品の一部として打ち上げられたため、プロジェクト発足当時の2021年は新型コロナウイルスが猛威を振るっている時期であり、その完全収束を願い、疫病退散キャラクターとして名高い「アマビエ」の宇宙船空間への打上げを決行。その際の安全を願った祈りも今回と同じく江島神社で実施した。

打ち上げたアマビエ像

この大きさは、縦6cm×横3cm×厚さ0.5mm、重さ3kgのアルミ板に刻印されたもので、ISSの船外設備に取り付けられ、宇宙線・紫外線を浴びながら地上から約400kmの上空を秒速約7.9km(時速約28000km)で飛行していた。これは地球を約90分で1周、1日で約16周する速さとなる。打上げ前後では、宇宙空間に実際に曝露されていた面に黄身がかかる。

変化が見られた。  
なお、同プロジェクト  
第二弾対象品の打上げ  
はすでに、今年3月15日  
(日本時間)にNASAの  
RS-27の一部として  
paceX社カーゴドラゴン  
補給船に搭載され、半  
国フロリダ州ケネディ  
宇宙センターからISSに  
に向けて打上げが完了  
約3ヶ月間、宇宙空間に  
曝露され、23年度中に地  
球に帰還予定だという。





## 決算発表 岡本工作機械製作所 新シリーズ、立軸ロータリー 研削盤の受注好調



6月の中部地方で開催された「VRG-DXシリーズ」に登場した

（本社）群馬県安中市、石井常路社長は5月12日、2023年3月期の決算発表を行った。

連結営業成績は、売上高455億2400万円（前期比増減率21.2%）と好調に推移し、収益とともに過去

（本社）群馬県安中市、石井常路社長は5月12日、2023年3月期の決算発表を行った。

連結営業成績は、売上高455億2400万円（前期比増減率21.2%）と好調に推移し、収益とともに過去

（本社）群馬県安中市、石井常路社長は5月12日、2023年3月期の決算発表を行った。

連結営業成績は、売上高455億2400万円（前期比増減率21.2%）と好調に推移し、収益とともに過去

## 中計最終年度目標を1年前倒しへ

（売上高5百億円・営業利益60億円）

最高を更新した。

半導体関連装置は大

口受注があつた前期に比

べ減少し、目先では在庫

調整から設備投資抑制

が続くものの、中長期的

な設備投資意欲は引き

続き旺盛とみている。工

作機械は設備補助金な

ど経済政策の効果で国

内は活発な設備投資が

継続。国内、海外ともE

V車関連向け大型平面

研削盤等が好調に推移

した。

そんな中、国内市場に

おいては「半導体関連や

ハイブリッド・EV車向け

セラミックス業界向けコ

ーテリーリー研削盤の需要高

まっている」と広報担当者は話す。

同社のロータリーリー研削

盤

を見込んでいる。

「1年前倒し」での達成

目標である売上高500億円、営業利益60億円の

目標である売上高500

億円、営業利益60億円の

</

